

懸賞論文募集

本邦製鋼方式に就て

趣旨 現在日本の製鋼事業が輸入屑鐵に依存してゐるが如き、一朝有事の際において需要の飛躍的増大に對處し得ざるのみならず、かへつて當該輸出の政策に死命を制せられる恐れがある、これではならない、その國防的重要性からして、どうしても自給自足の方策をたてねばならぬ、しかしこれは刻下の急務である。

支那事變を経験し、歐洲大戰を目のあたり見て製鋼事業に携はる各位は勿論、工業人、學者諸士はいづれもこの製鋼事業の將來方策について何等かの御高見を藏せられてゐることと思はれるので本會はこゝに陸軍當局指導の下に次記課題について廣く懸賞募集することになつた、幸ひ各位の御協力を得て名論卓説の輩出あらば國家進展のため慶賀に堪へない次第である。

募 集 規 定

1. 課 題 『現状勢下に於て本邦製鋼方式の向ふべき途』
支那事變の完遂、國防軍備の充實の大國策遂行に邁進しつゝある今日、複雑變轉なき國際狀勢に制肘されず、且つ克く物資不足の狀況を打破し最も現状勢下に即應せる自主的製鋼方式確立のため探るべき方策を具體的に論述し、次の事項を包含するものなること。
(イ) 現在の設備を極力活用するもの。
(ロ) 我國勢力圏外の資源より脱却す。
(ハ) 經濟的多量生産を目標とす。
2. 審 査 陸軍當局に依頼す。
3. 賞 金
一 席 陸軍大臣賞 軍刀一振 (副賞一千圓)
二 席 三百圓 三 席 二百圓
4. 應募論文 公開せぬ豫定。
5. 原 稿 最初の一枚に住所、氏名を明記し一枚四百字語 (一行廿字×廿行) のものを使用、枚數制限なし。
6. 書 方 ペンまたは毛筆にて認め、假名は平假名を使用すること、但し外國の固有名詞、機械名等特殊なものは片假名を使用すること。
7. 締切期間 昭和 15 年 10 月 30 日着便
8. 當選發表 適當な時期に『兵器工業』紙上に以てす。
9. 投稿先 機密保護上審査を依頼せる陸軍兵器本部 (東京市王子區下十條 1,695) 宛、封皮に『懸賞論文』と朱書すること。

昭和 15 年 8 月 1 日

主 催 陸軍兵器本部内 兵 器 工 業 會

抄録原稿の御投稿を歓迎す

日 本 鐵 鋼 協 會

本會々誌の抄録欄を益々殷盛に致し度き方針でありますから奮て御投稿を希望致します。

注意 御原稿は總て横書のこと

抄 録 欄 規 定

本欄に掲載すべき事項の範圍は鐵鋼に關する一切と非鐵金屬合金に關する事項の内探鑛及原鑛精鍊を除きたる一切とす本欄は次の諸項に分類す

1. 製 鐵 原 料 鐵鑛、マンガン鑛、クロム鑛、ニッケル鑛、モリブデン鑛、タングステン鑛及熔劑等の産出狀態 (鑛床) 成分、撰鑛、焙燒、團鑛及燒結等に關する一切 (燃料を除く)
2. 耐火材並に燃料及驗熱 耐火材に關する一切、石炭、コークス、ガス及液體燃料等の産出、製造、用法、性質に關する一切及溫度測定に關する一切
3. 銑鐵及合金鐵の製造 銑鐵製造に關する一切、電氣製鐵及合金鐵の製造に關する一切
4. 鋼及鍊鐵の製造 諸製鋼法及鍊鐵製造に關する一切
5. 鐵及鋼の鑄造 鑄鐵、鑄鋼及鋼塊の鑄造に關する一切
6. 鐵及鋼の加工 鐵及鋼の壓延、牽伸、鍛鍊、熱處理、表面處理、鍛接及銲接等に關する一切
7. 鐵及鋼の性質並に物理冶金 鐵、鋼の性質及物理冶金に關する一切
8. 非鐵金屬及合金 鐵以外の金屬及合金の製造、鑄造、加工及性質等に關する一切
9. 化 學 分 析 諸金屬及合金の化學分析法
10. 工 業 經 濟 及 政 策
11. 雜